

日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会  
第 35 回 輸送容器分科会 (F3SC) 議事録

1. 実施日時 : 令和 6 年 1 月 25 日 (木) 13 : 30~14 : 10
2. 実施場所 : Webex による Web 会議
3. 出席者 : (敬称略)  
(出席委員) 久保 (主査), 浅見 (副主査), 木倉, 島, 山岡, 村松, 道券, 溝淵, 影山,  
清水, 吉田, 松本 (12名)  
(代理出席委員) 松岡 (2名)  
(欠席委員) 北瀬, 市橋 (2名)  
(常時参加者) 広瀬, 高橋 (純), 南波, 樋口, 菊池 (5名)  
(欠席常時参加者) 高橋 (秀), 伊藤, 蓬田 (3名)

#### 4. 資料

|            |                                       |
|------------|---------------------------------------|
|            | 第 35 回輸送容器分科会議事次第                     |
| F3SC35-1   | 第 34 回 輸送容器分科会議事録 (案)                 |
| F3SC35-2-1 | 人事について (輸送容器分科会) (案)                  |
| F3SC35-2-2 | 人事について (輸送容器分科会 作業会) (案)              |
| F3SC35-3   | 原子燃料サイクル専門部会標準作成 5 年計画 (2024 年度版) (案) |
| F3SC35-4   | 第 92 回標準委員会における倫理教育に係る意見交換について        |

〈参考〉

|           |   |
|-----------|---|
| F3SC35-参考 | 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会 輸送容器分科会 (F 3 S C) 委員<br>一覧 |
|-----------|---|

#### 5. 概要

日本原子力学会標準委員会原子燃料サイクル専門部会 第 35 回 輸送容器分科会 (F3SC) が開催され、倫理教育に係る意見交換や「使用済燃料・混合酸化物・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準: 2013」に係るスケジュールについて議論を行った。

#### 6. 内容

開催に先立ち、14名の委員中、13名の委員 (代理出席委員を含む) の出席があり、分科会成立に必要な委員数 (10名以上) を満足している旨の報告があった。

(1) 前回議事録 (案) の確認 (F3SC35-1)

事務局 (松本幹事) より前回議事録の内容が説明され、承認された。

(2) 人事について【審議】 (F3SC35-2-1, F3SC35-2-2)

事務局より分科会及び作業会人事について報告があり、分科会として了承した。

【分科会人事】

a. 退任委員の報告

北瀬 浩氏（関西電力株式会社）の令和 5 年（2023 年）7 月 18 日付の委員退任が報告された。また、松本 光郎氏の令和 6 年（2024 年）1 月 31 日付の委員退任が報告された。

b. 新委員の選任

松岡 祐作氏（関西電力株式会社）及び海老原 稚典氏（原燃輸送株式会社）が委員候補として推薦され、決議の結果、新委員として選任した。

【作業会人事】

a. 常時参加者の登録と解除

海老原 稚典氏（原燃輸送株式会社）及び海野 秋岳氏（原燃輸送株式会社）の作業会常時参加者の登録が報告された。また、松本 光郎氏（原燃輸送株式会社）の作業会常時参加者の解除が報告された。

（3）使用済燃料・混合酸化物燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準：2013」改定の進め方について【審議】（F3SC35-3）

事務局より使用済燃料・混合酸化物燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準：2013」（F006）改定の進め方について、説明が行われた。改定方針に大きな変更はないが、改定検討状況を考慮し、改定スケジュールを 2025 年度末の改定版制定を目指すよう変更する旨の報告があり、分科会として了承した。

また、輸送容器分科会が担当している他の 2 つの標準（F001 及び F013）については、F006 の改定版制定後に着手する旨の報告があり、分科会として了承した。

（4）倫理教育に係る意見交換について（F3SC35-4）

事務局より倫理研修後の各委員の意見が紹介され、意見交換が実施された。

今回紹介された各員の意見を踏まえて、追加で意見がある場合は事務局に連絡するよう依頼があった。

（5）その他

事務局より、作業会における文献調査について、完了はしていないが前回の分科会報告時よりも進捗があったことが報告された。作業会の開催頻度を上げて引き続き調査を進めることが確認された。

以 上